

Q. 100年後の水をとりまく環境は？

(26 択＋その他／複数回答) n=486

◇半数以上が 100 年後には「環境税が導入されている」と予測し昨年同様トップ

◇技術進歩への期待により「一人当たりの水道使用量の制限」はわずかながら減少

100 年後の水をとりまく環境に対して回答者の予測1位は「環境税が導入されている」(58.0%／昨年:53.7%)、次に「水道料金が高騰している」(49.8%)、「海や川が汚染されている」(45.3%)という結果になりました。「水処理技術の進歩で海水が飲める」が 36.8%と昨年とほぼ同じ結果でしたが、「人工的に雨を降らせることができる」が今年は 35.4%で、昨年(27.5%)から比べると約 8%増加しました。一方、「一人当たりの水道使用量が制限されている」が今年は 32.1%と、昨年(37.2%)から約 5%減少しており、水不足への不安は技術進歩により解消されるのではないかと期待がうかがえます。

